

財政状況等一覧表（17年度）

団体名 岩見沢市

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの）

(百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債 現在高	他会計から の繰入金	積立金現在高			備考
							財調・減債	その他特目	備荒資金(超過分)	
一般会計	38,448	37,656	792	702	52,141	81	6,885	5,777	1,332	
公共用地等造成費会計	150	150	0	0	414	74	-	-	-	
高等学校費会計	608	607	1	1	749	533	-	-	-	
競馬場費会計	173	165	8	8	-	-	-	1,687	-	
普通会計	46,358	45,557	801	711	53,304	3	6,885	7,464	-	基金から5,167百万円繰入

2 1以外の特別会計の財政状況（公営事業会計に係るもの）

(百万円)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	不良債務 (実質収支)	地方債 現在高	他会計から の繰入金	備考
水道事業会計	1,406	1,262	144	-	7,082	2	法適用企業
下水道事業会計	2,029	1,776	252	-	16,547	1,018	法適用企業
病院事業会計	10,304	10,039	265	-	7,087	671	法適用企業
と畜場事業会計	(歳入) 118	(歳出) 118	(形式収支) 12	(実質収支) 12	-	-	
市場事業会計	(歳入) 74	(歳出) 74	(形式収支) 1	(実質収支) 1	207	11	
宅地造成事業会計	(歳入) 145	(歳出) 211	(形式収支) 1,502	(実質収支) 1,502	-	139	
観光施設事業会計	(歳入) 199	(歳出) 199	(形式収支) 0	(実質収支) 0	227	192	
農業集落排水事業会計	(歳入) 105	(歳出) 104	(形式収支) 2	(実質収支) 2	520	59	
介護サービス事業会計	(歳入) 66	(歳出) 68	(形式収支) 3	(実質収支) 3	-	15	
簡易水道事業会計	(歳入) 239	(歳出) 226	(形式収支) 18	(実質収支) 18	1,232	71	
公共下水道事業会計	(歳入) 238	(歳出) 237	(形式収支) 1	(実質収支) 1	1,450	160	
国民健康保険事業会計	(歳入) 9,573	(歳出) 9,284	(形式収支) 288	(実質収支) 288	-	765	
老人保健医療事業会計	(歳入) 10,527	(歳出) 10,477	(形式収支) 50	(実質収支) 50	-	747	
介護保険事業会計(保険事業勘定)	(歳入) 4,977	(歳出) 4,840	(形式収支) 137	(実質収支) 137	-	708	
介護保険事業会計(介護サービス事業勘定)	(歳入) 13	(歳出) 13	(形式収支) 0	(実質収支) 0	-	3	

3 関係する一部事務組合等の財政状況

(百万円、%)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	形式収支 (純損益)	実質収支 (不良債務)	地方債 現在高	積立金 現在高	当該団体の 負担割合	備考
南空知ふるさと市町村圏組合	169	128	42	42	-	1,000	95.4	
うち一般会計	19	9	10	10	-	-	41.3	
うち基金事業会計	48	16	32	32	-	1,000	-	
うち施設整備会計	103	103	0	0	-	-	100.0	
岩見沢地区消防事務組合	1,441	1,431	10	10	170	-	86.9	
空知教育センター組合	33	28	4	4	-	-	7.6	
北海道市営競馬組合	15,818	18,954	3,136	3,136	-	58	0.0	
桂沢水道企業団	(総収入) 352	(総費用) 438	(純損益) 86	(不良債務) -	2,019	-	74.4	法適用企業

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(百万円)

	経常損益 (千円)	資本又は 正味財産 (千円)	当該団体か らの出資金 (千円)	当該団体か らの補助金 (千円)	当該団体か らの貸付金 (千円)	当該団体か らの債務保証に 係る債務残高	当該団体か らの損失補償に 係る債務残高	備考
岩見沢振興公社	3,888	48,525	3,000	-	450,725	-	-	14
いわみざわ地域交流センター	4,475	340,116	300,000	3,750	-	-	-	-
コミュニティエフエムはまなす	1,965	28,307	10,000	-	-	-	-	-
はまなすインフォメーション	398	45,905	10,000	-	-	-	-	-
振興いわみざわ	5,232	16,977	5,000	-	-	-	-	-
岩見沢市土地開発公社	23,854	515,550	3,000	-	2,227,313	-	-	165
きたむら振興公社	1,788	26,440	7,000	-	-	-	-	-

5 財政指数

財政力指数	0.365	実質収支比率	3.0
実質公債費比率	13.4	経常収支比率	86.9
ラスバイレス指数 (H18.4.1現在)	93.4	標準財政規模(百万円)	23,598.2

1において、「普通会計」の行では、各会計間のお金の出し入れが除かれること、平成17年度は合併前の北村及び栗沢町の打ち切り決算額が岩見沢市の一般会計に引き継がれていることから、各会計の合計と一致しません。

1～4の各項目の決算額については、各項目ごとに四捨五入しているため、歳入・歳出が形式収支と一致しない場合があります。

解説

市の財政指標、各会計の決算状況に加え、関係する一部事務組合や第三セクターの経営状況を取りまとめたもので、総務省からの通知に基づいて作成しており、都道府県や市町村共通様式であり、各団体のホームページでそれぞれの団体の情報もご覧になることができます。

用語解説

一般会計	～福祉、教育、土木、衛生などの市の基本的な施策を行うための会計です。一般会計のほかに、特定の収入をもって特定の事業を行うために設けられているのが特別会計です。
普通会計	～公営事業会計以外の会計を統合して一つの会計としてまとめたものです。
特別会計	～法律で特別会計とすることが定められている国民健康保険会計などの事業会計や、市町村が独自に設けている公共用地等造成費会計など普通会計に属する特別会計、競輪・競馬などの収益事業会計や公営企業会計に区分されます。
公営事業会計	～病院事業や上水道事業などがあり、一般会計と同様の経理を行っているものと、地方公営企業法を適用し、民間企業と似た経理を行っているものがあります。
形式収支	～各会計年度における歳入総額から歳出総額を単純に差し引いた額を指します。
実質収支	～形式収支から、翌年度への繰越財源を差し引いたもので、過去からの収支の赤字・黒字要素が含まれます。
財政力指数	～地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得られた数値の過去3年間の平均値を指します。
基準財政需要額	～普通交付税算定上、地方公共団体が、合理的かつ妥当な水準で行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法によって合理的に算定した額を指します。
基準財政収入額	～普通交付税算定上、地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法で算定した額を指します。
実質収支比率	～標準財政規模に対する実質収支額の割合を指します。
標準財政規模	～地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう經常一般財源の規模を指すもので、標準税収入等に普通交付税を加算した額を指します。
実質公債費比率	～地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度定期的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に順ずるものを含めた実質的な公債費相当額（交付税措置されるものを除く）に充当されたものの占める割合の過去3年間の平均値を指します。
經常収支比率	～地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度定期的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に支出される経費に充当されたものが占める割合を指します。
ラスパイレス指数	～国家公務員の給与水準と比較した市職員の給与水準の割合を指します。
法適用	～公営企業会計において、地方公営企業法の全部又は財務規定を適用し、経理事務を企業会計方式で行っている事業を指します。 また、地方公営企業法を適用していない事業で、経理事務を官庁会計方式で行っている事業を法非適用企業と いいます。
純損益	～法適用企業において、各会計年度における総収益から総費用を差し引いた額を指します。
不良債務	～法適用企業において、流動負債の額が流動資産の額を超える場合、その超えた額のことを指します。
流動負債	～法適用企業において、負債のうち1年以内に償還しなければならない短期の債務のことを指します。
流動資産	～法適用企業において、資産のうち1年以内に換金しうるもののことを指します。